

婦人の家 タイムス Times

第66号

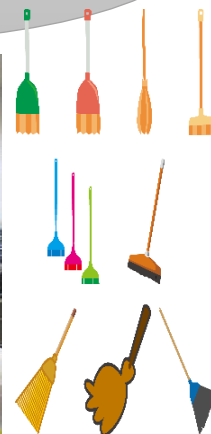
30年2月発行
牧之原地区センター
(農村婦人の家)



婦人の家を今年もワンダフルに
行こうだワン!♥

婦人の家 大掃除 ～12月10日(日)～

婦人の家を利用している利用委員会の皆さん、正副自治会長、下区班長さん、ダンベルの会、生き生きサロンの役員さん、総勢40人が集まり、大掃除を行いました。外の剪定、婦人の家内のガラス拭き、床、玄関、水回りなど、役割を分担し、あっという間にきれいになりました。気持ちよく新年を迎えることができ、本当にありがとうございました。



生き生きサロン 12月15日(金)「クリスマス会」 1月15日(月)「交通教室」

新春のトップをきって、生き生きサロンでは、「交通教室」を行いました。講師は、菊川警察署から交通安全指導員の齊藤さんと増田さんです。平成29年の菊川市の交通事故件数は287件で28年より、22件減少していますが、そのうちの高齢者の事故は、179件と35件増加しています。特に高齢者の運転事故が去年の2倍、出会い頭事故と追突事故が一番多いそうです。



ま…まず止まる、道を出るとき、止まるとき
き…危険を探して安全確認
の…乗ったら締めるシートベルト
は…「速いかも」車がいるまで待ってみる
ら…ライト点け、見つける工夫、目立つ工夫



シニアドライバーの多い牧之原地区は、講話を反復することで事故を防ぐ手助けになることから、毎年1回交通教室を行っています。

今後の予定

- ★ 2月3日(土) 19:00～ 婦人の家
自治会女性部 新役員回選及び交代会
(平成30年度の連絡委員さんはお集まりください)
- ★ 3月4日(日) 19:00～ 婦人の家
牧之原下区総会
- ★ 3月11日(日) 19:00～ 牧之原上区集会所
牧之原上区総会

～生き生きサロン無料体験実施中～

- ♥ 2月15日(木) 13:30～ 婦人の家 : 牧之原小学校3年生との交流会
- ♥ 3月15日(木) 13:30～ 婦人の家 : ダンベル体操 (持ち物 上靴)



婦人の家を利用する皆さんへ…時々電気、換気扇の消し忘れがあります。責任者の方は、必ず確認をお願いします。

婦人の家 Times

地域防災訓練

第66号

30年2月発行
裏面号
(農村婦人の家)

～牧之原地区防災訓練～

平成29年12月3日(日)



災害注意情報発生時から注意情報が解除されるまで、また警戒宣言が発令され、警戒解除宣言が、出されるまでの間、住民の生命を守るため、菊川市総合防災訓練が12月3日(日)に行われました。

今回は、特集を組み、牧之原地区防災訓練の様子をお伝えします。

今年から、朝8時にサイレンと共に警戒宣言が発令しました。その合図で牧之原農村婦人の家が自主防災本部、多目的広場を避難所として設営されました。ただちに各班の班長さんは、班内を見回り、安否状況、安全旗の確認を行いました。同時に防災委員が物資を避難所に搬入し、自治会女性部が炊き出しの準備に入りました。



午前9時訓練が開始されました。各班の班長さんは、防災委員へ安全確認旗の状況を報告。防災委員は集計し、本部(婦人の家)にいる自治会長へデジタル無線機で報告をしました。そして牧之原防災本部で待機している自治会長は、六郷地区防災会連絡本部へ無線機を使って報告をしました。これまでの流れが一番重要で大変な伝達訓練となります。

午前10時 消火訓練が始まりました。
ここからは、消防団が中心になって進められます。



まず、消防団から、消火器の使い方を説明し、実際に見本を見せてくれました。その後、小、中学生、高校生、女性の方も加わり、あらかじめ用意された火元に向かって消火器を発射しました。初めて消火器に触れた子ども達は、その発射威力にびっくりしていましたが、使い方をしっかり体で学んでいました。

その後は、バケツリレーの訓練を行いました。消防団は、防火水槽から可搬ポンプで移動式タンクに水を汲み上げ準備をしました。小学生以上の方に参加を要請し、2列に並んで移動式タンクからバケツに水を入れ手渡してバケツリレーをします。



自治会女性部は、アルファ米を炊き、1個1個丁寧ににおにぎりを作りました。手早い作業でバケツリレー終了時には配布することができました。このように一連の流れを終了したのは11時ころでした。

六郷地区自主防災会は、5つのブロックに分かれており、次々と避難所運営委員会を立ち上げ、訓練時には避難所を開設された訓練が行われています。牧之原地区も、「牧之原農村婦人の家避難所運営委員会」を立ち上げるために、只今規約、組織委員等の原案を作成中です。また、六郷地区自主防災会では、毎月定例会を開き、各自治会単位で行われた活動を報告したり、5つの避難所運営委員会の活動状況を確認したりしています。

牧之原地区は、幸いにも水の災害や地震などの被害が少なく安全な場所となっています。そのため、避難応援、受け入れに力を入れる方向になるかと思えます。必要に応じて、牧之原地区防災組織が的確に行動できるようにするためには、日頃から家族の間で話し合うことも大切ですし、地域の行事等に積極的に参加し、人を覚える、人に自分を覚えてもらうことも重要ではないでしょうか。

